



2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年5月12日

上場会社名 株式会社ベーシック 上場取引所 東
 コード番号 519A URL <https://basicinc.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 秋山 勝
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレート部門長 (氏名) 清水 英次 TEL 03 (3221) 0311
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の業績 (2026年1月1日～2026年3月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	615	—	103	—	96	—	14	—
2025年12月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	2.87	2.72
2025年12月期第1四半期	—	—

- (注) 1. 2025年12月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2025年12月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2026年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
2. 当社は、2026年3月25日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、2026年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から2026年12月期第1四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
2026年12月期第1四半期	1,907		1,456		76.4
2025年12月期	1,163		721		62.0

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 1,456百万円 2025年12月期 721百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の業績予想 (2026年1月1日～2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,734	20.2	450	66.6	434	64.1	334	△3.1	56.66

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 1株当たり当期純利益については、2026年3月24日付で払込完了した公募（ブックビルディング方式による募集）による新株式の発行に伴う公募増資分（900,000株）を含めて算定しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期 1 Q	5,903,895株	2025年12月期	5,003,895株
② 期末自己株式数	2026年12月期 1 Q	一株	2025年12月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期 1 Q	5,073,895株	2025年12月期 1 Q	一株

(注) 当社は2025年12月第1四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2025年12月期第1四半期の期中平均株式数は記載しておりません。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく変更する可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、T D n e t 及び当社ウェブサイトにて同日開示いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(セグメント情報等の注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	5

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、物価高の継続により企業・消費者ともに先行きへの慎重さが見られる状況となりました。企業活動においては、AIの急速な進化がビジネス環境を大きく変容させる中、業務効率化への需要が一層高まっております。しかしながら、中東情勢等の緊迫化に伴うエネルギー・資源価格の高止まり、米国の通商政策をめぐる不確実性や中国との地政学的緊張の高まりなど、事業環境の先行きには依然として不透明感が残る状況が続いております。

また、わが国においては、少子高齢化に伴う労働力人口の減少が不可避の構造的課題となっております。生産年齢人口は今後数十年にわたり縮小が見込まれており、企業においては、限られた人材で付加価値を最大化するための労働生産性向上が重要な経営課題となっております。

当社は創業以来、「問題解決の集団」として、企業がその強みに集中できる環境の実現を目指し、これまで50を超える事業を展開してまいりました。その中でも、マーケティング・営業・カスタマーサクセス等に代表されるフロントオフィス領域は、業務の属人化や情報分断が生じやすい分野であり、業務効率化に対するニーズが継続的に存在しております。

こうした課題認識のもと、当社は「事業の成長を人の数で解決しない」という考えのもと、フロントオフィス領域のDXを支援するプロダクトとして、「ferret One」および「formrun」を主軸に事業を展開しております。

「ferret One」はWebサイトを起点としたBtoBマーケティングワークフローツール、「formrun」はフォームを起点に問い合わせ対応や営業活動等の業務を管理・運用するワークフローツールであり、いずれも企業活動における情報入力 of 起点を担い、取得した情報の管理・活用を支援しております。

当第1四半期累計期間においては、「ferret One」では営業およびサポート体制の整備や機能拡充を進める中で、既存顧客を中心とした利用範囲の拡大が進み、顧客単価の改善が見られました。「formrun」では、有料会員数の増加が継続し、顧客基盤の拡大に寄与しました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の経営成績は、売上高は615,758千円、営業利益103,474千円、経常利益96,612千円、四半期純利益14,572千円となりました。

なお、当社はワークフロー事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末比743,478千円増加の1,907,009千円となりました。これは主に、現金及び預金が753,367千円増加したことによるものです。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末比8,546千円増加の450,371千円となりました。これは主に、買掛金が15,402千円増加したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末比734,932千円増加の1,456,637千円となりました。これは主に、東京証券取引所グロース市場への新規上場に伴う新株発行による資本金360,180千円の増加及び資本剰余金360,180千円の増加によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の業績予想につきましては、2026年3月25日付「東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	586,515	1,339,883
売掛金及び契約資産	222,376	255,283
その他	107,930	117,973
貸倒引当金	△4,515	△4,387
流動資産合計	912,307	1,708,751
固定資産		
有形固定資産	10,553	10,287
無形固定資産	35,294	47,301
投資その他の資産		
繰延税金資産	117,494	51,214
その他	90,224	91,935
貸倒引当金	△2,343	△2,480
投資その他の資産合計	205,375	140,669
固定資産合計	251,222	198,257
資産合計	1,163,530	1,907,009
負債の部		
流動負債		
買掛金	24,139	39,541
1年内返済予定の長期借入金	33,600	33,600
契約負債	80,122	84,675
未払法人税等	2,149	19,844
未払消費税等	54,212	35,997
その他	97,428	97,709
流動負債合計	291,651	311,368
固定負債		
長期借入金	144,000	132,800
その他	6,173	6,202
固定負債合計	150,173	139,002
負債合計	441,824	450,371
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	370,180
資本剰余金	366,744	726,924
利益剰余金	344,961	359,533
株主資本合計	721,705	1,456,637
純資産合計	721,705	1,456,637
負債純資産合計	1,163,530	1,907,009

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	615,758
売上原価	103,599
売上総利益	512,158
販売費及び一般管理費	408,684
営業利益	103,474
営業外収益	
受取利息及び配当金	505
助成金収入	7,200
その他	390
営業外収益合計	8,096
営業外費用	
支払利息	662
上場関連費用	13,915
その他	381
営業外費用合計	14,958
経常利益	96,612
税引前四半期純利益	96,612
法人税、住民税及び事業税	15,761
法人税等調整額	66,279
法人税等合計	82,040
四半期純利益	14,572

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社はワークフロー事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2026年3月25日付で東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。上場にあたり、2026年3月24日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株式900,000株の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ360,180千円増加しております。

この結果、当第1四半期会計期間末において、資本金が370,180千円、資本剰余金が726,924千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

当第1四半期累計期間
(自 2026年1月1日
至 2026年3月31日)

減価償却費

3,197千円